

令和6年度 もっと安心農産物「抑制ミニトマト」防除暦【営農センター 干潟】

令和5年12月
JAちばみどり 干潟園芸組合 ミニトマト部会 もっと安心生産グループ

月	旬	作業	病虫害発生時期	薬剤名	濃度・使用量	対象病虫害	使用時期	総使用回数	マルハナバチ影響日数
5月	上旬	ベッド作り		D-D ネマトリンエース粒剤	20リットル/10a 15~20kg/10a	ネグサレセンチュウ、ネコフセンチュウ ネコフセンチュウ	作付10~15日前迄 定植前	1回 1回	- 0日
	中旬	育苗・定植		ベリマークSC ベストガード粒剤	400株当り25ml 1~2g/株(植穴)	コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類 コナジラミ類、アブラムシ	育苗期後半~定植当日 定植時	1回 1回	1日 30日以上
	下旬			ベネビアOD コルト顆粒水和剤	2000 4000	アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類 アブラムシ類、コナジラミ類	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 3回	1日 5日
6月	上旬			ダコニール1000 ディアナSC	1000 2500	疫病、葉かび病、うどんこ病、すすかび病、はんてん病 コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 2回以内	0日 1日
	中旬			ベルコート水和剤 モスピラン顆粒水溶剤	6000 2000	葉かび病、灰色かび病 コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 3回以内	0日 1日
	下旬	収穫始め		アフエットフロアブル アニキ乳剤	2000 2000	斑点病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病 ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハモグリバエ類	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 3回以内	1日 1日
7月	上旬			シグナムWDG ベネビアOD	2000 2000	葉かび病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病 アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 3回以内	0日 1日
	中旬			コサイド3000 ファインセーフフロアブル ガードホープ液剤	1000 1000~2000 4000	疫病 アザミウマ類、タバココナジラミ類、トマトサビダニ ネコフセンチュウ・トマトサビダニ	- 収穫前日迄 収穫前日迄	- 3回以内 1回	0日 1日 14日
	下旬			ロブラール水和剤 グレーシア乳剤	1000 2000	斑点病、灰色かび病、輪紋病 コナジラミ類、トマトハモグリバエ、ハスモンヨトウ	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 2回以内	0日 1日
8月	上旬			アフエットフロアブル マッチ乳剤	2000~4000 2000	葉かび病、すすかび病、斑点病、うどんこ病 コナジラミ類、トマトサビダニ、ミカンキイロアザミウマ	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 2回以内	1日 0日
	中旬			コサイド3000 モスピラン顆粒水溶剤	1000 2000	疫病 コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類	- 収穫前日迄	- 3回以内	0日 1日
	下旬			パレード20フロアブル ディアナSC	2000~4000 2500	うどんこ病、灰色かび病、葉かび病 コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 2回以内	1日 1日
9月	上旬			ペンコゼーフロアブル グレーシア乳剤	1000 2000	疫病、葉かび病、輪紋病 コナジラミ類、トマトハモグリバエ、ハスモンヨトウ	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 2回以内	0日 1日
	中旬			シグナムWDG コルト顆粒水和剤	2000 4000	葉かび病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病 コナジラミ類、アブラムシ類	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 3回以内	0日 5日
	下旬			ペンコゼーフロアブル アニキ乳剤	1000 2000	疫病、葉かび病、輪紋病 ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハモグリバエ類	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 3回以内	0日 1日
10月	上旬			ブレバソフフロアブル5 プロポーズ顆粒水和剤	2000 1500	オオタバコガ・ハモグリバエ類 疫病	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 2回以内	1日 1日
	中旬			スピノエース顆粒水和剤 ベルコート水和剤	5000 6000	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類 葉かび病、灰色かび病	収穫前日迄 収穫前日迄	2回以内 2回以内	3日 0日
	下旬			フェスティバルC水和剤 パレード20フロアブル	600 2000~4000	疫病 うどんこ病、灰色かび病、葉かび病	収穫前日迄 収穫前日迄	1回以内 3回以内	0日 1日
11月	上旬								
	中旬			レーバフフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤	2000 2000~3000	疫病 灰色かび病、葉かび病、菌核病	収穫前日迄 収穫前日迄	3回以内 3回以内	1日 0日
	下旬								
12月	上旬								
	中旬								
	下旬								

- ※天候等の影響により病虫害が大発生し、やむを得ず上記防除暦以外の農薬を使用する場合は、農薬記載簿に記載のある薬剤を使用する。
- ※防除暦・農薬記載簿以外の農薬を使用する場合は、使用前に確認責任者の了解を得て使用する。
- ※農薬使用前にラベルを必ず確認してから使用する。(農薬登録の遵守)
- ※育苗をする場合には、苗の周りに害虫がよらないようにネットの展張、光反射シート、黄色粘着版を設置する。(栽培終了時にはハウス内を蒸し込み虫の住処を無くす。)

物理的防除も必ず実施しましょう！	
※防虫ネットによる害虫の侵入防止 (0.4ミリ目推奨)	※ハウス周辺の除草により虫の住処を無くす
※粘着トラップによる捕殺 (10aに200枚設置)	※ハウス内湿度を下げる対策

- 土壌消毒剤**
・キルパー ・バスアミド微粒剤 ・ディ・トラベックス油剤 ・ソイリン ・ネマキック粒剤 ・クロールピクリン
- ※各薬剤使用時には使用基準(使用時期・使用量・使用方法)に従ってください。
- コナジラミ対策**
・トランスフォームフロアブル ・ノーモルト乳剤 ・カスケード乳剤 ・モベントフロアブル(マルハナ注意)
・エコピタ液剤 ・サフオイル乳剤 ・サンヨール
- ※コナジラミによる黄化葉巻病によりトマトが全滅する恐れがあります。コナジラミ並びに黄化葉巻病が発生した場合にはマルハナバチの使用を控えて農薬にて防除する。
- ハモグリバエ対策**
・トリガード液剤 ・プレオフロアブル ・コロマイト乳剤 ・アフアーム乳剤
- 葉カビ病対策**
・ファンタジスタ顆粒水和剤 ・パレード20フロアブル
- 疫病対策**
・ホライストドライフロアブル

※散布記録簿については、年3作で同様のものを使用し、統一の農薬の使用を心がける